



災害時情報収集伝達訓練・避難所開設、運営訓練

9月25日

【場 所】 国本地区市民センター
【主 催】 国本地区防災会 国本地区市民センター
【参加者】 国本地区防災会、自治連合会長、各種団体、避難所運営ボランティア、国本地区市民センター 計32名

次の二つに分けて行いました

①災害時情報収集伝達訓練

災害情報を想定し、作成された「災害時情報収集連絡簿」順に電話連絡にて伝えました。

②避難所開設、運営訓練

避難場所の準備、受付、誘導など手順に従い設営を行いました。その後、参加者で避難所運営と避難した避難者役に分けて実施しました。

受付、誘導ともに初めての合同訓練で滞ることもあり、継続して訓練を行う必要があると思いました。最後に避難場所の撤収を全員で行いました。

常に有事に備えた意識、準備を忘れずに、心がけていきたいと思えます。

→ 検温



← 受付



→ ホール(避難所)



国本消防団行事

7月18日

【場 所】 晃陽中学校
【主 催】 宇都宮市
【参加者】 篠井、国本、富屋分団 約90名



■夏季点検

服装及び隊列訓練を篠井、国本、富屋分団の順に体育館で行い、消防車両点検を校庭にて実施しました。その中で、宇都宮市長からご挨拶をいただきました。

■夏季点検後の行事として

11月9日～15日	秋季全国火災予防
11月19日・20日	機械器具点検
12月25日～1月15日まで	年末年始特別夜警
1月7日	出初め式

日ごろから地域の皆様のご協力ありがとうございます。今後とも皆様が、安全、安心に暮らせるよう精進してまいります。



「いちご一会」とちぎ国体 おもてなし売店

【場 所】 栃木県ライフル射撃場（新里町）
 【主 催】 国本食生活改善推進員協議会
 【参加者】 国体関係者（選手、スタッフ等）
 ヘルスメイト7名、国本地区市民センター2名

いちご一会（一期一会）、調べてみれば意味がたくさんある中で、一生に一度の出会いで二度とないということ。

今までコロナ禍で活動できなかった分、センターの皆様、国体局の皆様のご協力により、地産地消の「国本けんちん汁」をおもてなし売店として出店させていただきました。皆様に大変好評で、お蔭様で準備した150食を完売することができました。また、新里ネギのPR、私たちの役目である健康リーフレットの配布やパネル展示などを行い、この機会に、少しでも国本地区のことや食生活のことを知ってもらえたらと思いました。

自然の中で天候にも恵まれ、たくさんの人たちに出会えて本当によかった。ありがとうございました。



婦人防火クラブ 研修会開催

10/26 11/16
 【場 所】 国本地区市民センター
 【主 催】 国本地区婦人防火クラブ
 【参加者】 16名

10月26日に婦人防火クラブ員研修会を行いました。16名が参加し、災害発生時に必要な段ボールベッドや簡易トイレの組立を行いました。さらに、展示した女性用避難リュックや災害食の見学等を行いました。段ボールベッドの丈夫さに感心したり、災害時のトイレの大切さを話し合ったりしました。最後に残ったメンバーで新聞紙スリッパ作りもしました。

11月16日には、役員研修としてパッククッキングを行いました。袋に入れて鍋で茹でるだけでお米がおいしく食べられることに驚き、「災害時に温かいものが食べられたら安心するだろうね」と話し合いました。

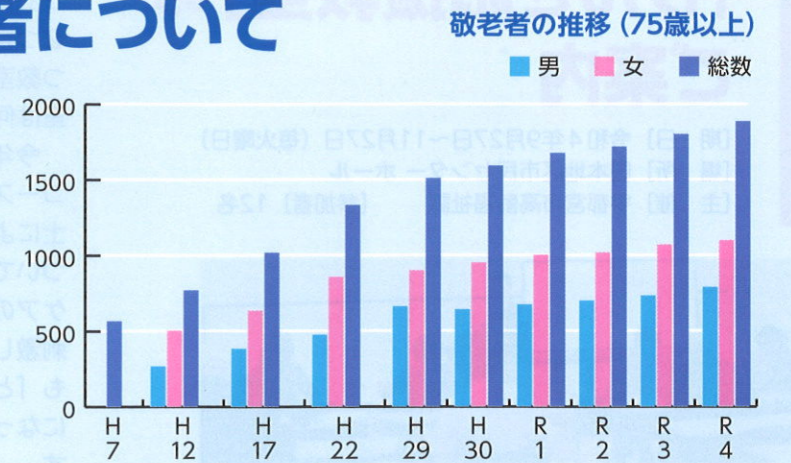


国本地区の敬老者について

【期 日】 平成7年より
 【場 所】 国本地区（岩原町・宝木本町・新里町・野沢町）

国本地区内の敬老者（75歳以上）がどのように推移しているのかグラフにしてみました。グラフからお分りのとおり、年々増加しており、この傾向は当分続くと思われます。

なお、グラフのデータは、平成7年、12年、17年、22年は国勢調査、平成29年以降は国本地区社会福祉協議会のデータより作成しました。



敬老者に贈る メッセージ

【期 日】 9月中旬のお届け
 【主 催】 国本地区社会福祉協議会
 【参加者】 国本地区敬老者 1,886名

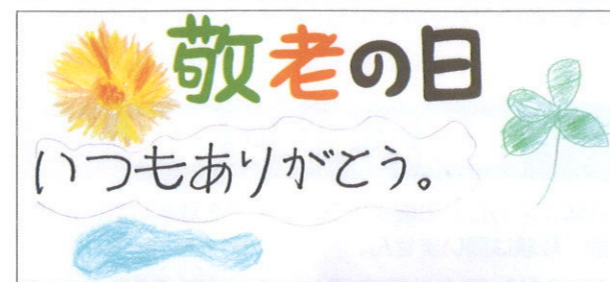
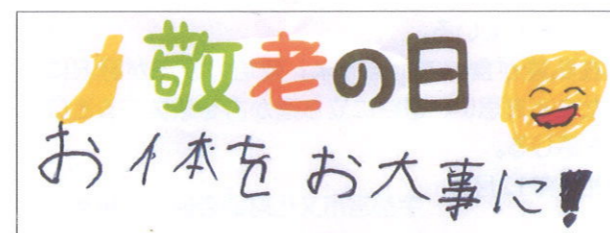
今年度の75歳以上の対象者は1,886名。100歳以上の方は11名となりました。

今年は記念品と、市長、国本地区社会福祉協議会長の挨拶、小学校の児童によるメッセージカードを同封しました。

国本西小の全児童が描いたカードを同封し、お年寄りから返事が届きました。その一例です。

『敬老の日 お体をお大事に！』（児童）
 『あたたかい励ましの文字にうれしくて泣いてしまいました。私たちの時代は戦争があり、とても悲しい時代でした。今は平和の時代が長く続きますように祈っています。日々先生のもとで楽しく生きていってください。』（90歳のおばあちゃんより）

児童の優しい言葉や絵にお年寄りとの思いがけない交流が生まれました。



↑児童一人一人が敬老者に向けてメッセージを書きました

長寿会の ゴルフコンペ

【場 所】 ロイヤルカントリークラブ
 宇都宮市宮山田町1319
 【参加者】 32名（8組×4名）



国本地区長寿会連合会では年間事業の一つとして、平成22年度から実施している長寿会員によるゴルフコンペがあります。今年度も多くの参加者を得、盛会に行いました。ゴルフ愛好の会員同志が元気でゴルフができる喜びを話し合い、毎年時期が来るのを楽しみに開催しております。

今後は、会員と国本地域内の年齢を問わないゴルフ愛好者との合同コンペを実施し、地域の各種団体との交流を密にして親睦の輪を深めたいと考えています。



『宮ココ』市民情報システム

令和4年度宇都宮市地域の安全・安心と子どもの健全育成のための『市民総ぐるみ環境点検活動』における市民情報システムの紹介



上記のQRコードからアクセスできます。

地域、町ぐるみで対応する『市民総ぐるみ環境点検活動』は、継続事業として青少年育成会が幹事として実施しております。宇都宮市の対応で一つずつ改善成果を得てきました。地域で点検した主に危険箇所を地域で改善対応するもの、行政側に伝え改善を行うものという役割分担があります。

行政では宇都宮市の「道路、河川、公園などの施設、ゴミの不法投棄、危険な建築物」、警察関係では「交通、横断歩道、防犯」などがあります。IT化の流れを受け、昨年度から宇都宮市の「宮ココ(市民通報システム)」によりネットでの通報が可能になりました。迅速性や緊急性を踏まえ、この通報システムを利用いただけるよう紹介させていただきます。スマートフォンにより、危険箇所等気づいた皆さんに速やかな情報提供をお願いし、町全体で監視して改善の一助としたいと思います。よろしくお願ひします。

「げんき応援教室」のご案内

【期 日】 令和4年9月27日～11月27日（毎火曜日）
 【場 所】 国本地区市民センター ホール
 【主 催】 宇都宮市高齢福祉課 【参加者】 12名



宇都宮市から委託された介護予防を目的とした教室が2つあります。1つ目は以前ご紹介した「はつらつ教室」、2つ目は今回ご紹介する「げんき応援教室」です。はつらつ教室はお元気な方を対象としていますが、げんき応援教室は何らかの機能低下がみられている方が対象になります。

今年度も国本地区市民センターで9月下旬より10回コースで開催されました。フィットネスクラブの運動指導士による運動指導と体力測定の実施、認知症予防や食事についての講話、歯科衛生士による嚥下機能チェックや口腔ケアの講話、脳トレ問題を解いたりコグニサイズ[※]で脳を刺激したりなど充実した内容になっています。参加者からも「とても楽しい、参加してよかった」「ここに来るようになって元気が出てきた」等の声が聞かれ、とても好評です。

来年度は9月からろまんちっく村の研修室で開催予定になっています。ご興味のある方はぜひよろしくお願い致します。

※コグニサイズは、コグニション（認知）とエクササイズ（運動）を組み合わせできた名称で、新しいエクササイズです。

国本の歴史と文化

第四話 「野沢村の歴史」②

“稲づくりに挑戦した野沢の先人達”

野沢町の栃木県農業試験場周辺には縄文及び弥生時代の野沢・野沢北・石塚の遺跡があり、いずれの遺跡も弁天沼を水源とする釜川近くの低湿地に位置する。

野沢での稲作が行われた時期は早く、弥生時代中期前半頃と言われる。その痕跡は明治27年（1894）に発掘された野沢遺跡から「野沢式土器」が発見され、土器の中にはその底部に粃粒の圧痕が残されており、また、野沢北遺跡の土器の胴部に粃痕のついている物が発見され証明された。

中期弥生土器に粃痕が残っているのは例が少なく、本地域では野沢遺跡と野沢北遺跡のみである。

これは、当時野沢に住んだ人々が弁天沼を水源に、釜川沿いの狭いわずかばかりの低湿地を水田として利用し、稲づくりに挑戦した証である。

弥生時代の稲粃は、粃先に長い「とげ」が生えており（現代の古代米が類似）、粃を田に直か播きし、収穫は穂を摘み取る等々、未熟な技術でも栽培できたところがあるが、初めて粃を目にした先人達は果たして芽が出



↑野沢北遺跡・粃痕の土器

るのか、実は結ぶのかと思考し不安な日々を送ったことが容易に想像できる。

近世には、弁天沼の水を農業用水として大切に使用するため「水を司る神」の巖島神社が、また、石塚遺跡西側には「開拓の神」星宮神社が祀られ現在も氏子により守られている。

現在私達が食べている「米」栽培の原点が野沢にあったことを思い、遺跡に立ち遙か古を想像するとロマンを感じる。

令和4年12月

宇都宮市文化財調査員 川村泰一

(参考文献：改訂「うつのみやの歴史」平成4年3月30日 宇都宮市)

国本地区データ

総世帯数 6,338世帯

総人口 14,975人

[男 7,408人 女 7,567人]

(令和4年11月末日現在)

編集スタッフ募集

「広報くにもと」の編集ボランティアを募集しています。年齢・経験は問いません。

【問合せ】 国本地区市民センター TEL.665-2942